

## 子どもたちは「未来」そのもの

校長 高橋 秀吉

このところ3年生の生徒と進路関係の面接をする機会があります。進路選択に際して生徒の皆さんはさまざまに思い悩み、将来のことも視野に入れ進路を決定していきます。私たちが思っている以上に、生徒たちは将来や自分の人生について考えているようです。

ある生徒はこれまで打ち込んできたスポーツに高校でも取り組み、そのスポーツで活躍することを目指しています。また、ある生徒は看護師になる夢を実現するために高校進学を考えました。一方、得意な英語を更に伸ばし国際的な場面で働きたいので海外留学プログラムのある高校を選んだり、動物好きで、将来動物に関係した仕事につきたいという目標を実現するために進路を選んだりしている生徒もいます。

それぞれの興味・関心や個性に応じて多様で柔軟な進路選択をしているように感じます。10年後にはそれぞれの個性を生かしながら社会の中で活躍していることと思います。生徒の皆さんと接していて、「未来」を感じます。教育とは「未来」を創造することだと思えます。より良い「未来」のために、私たち大人は子どもたちのことを思い、考え、鍛え、守っていく責任があると思えます。

ところで、みなさんは国際バカロレア (International Baccalaureate) という国際的な教育プログラムについて知っていますか。文部科学省は、グローバル人材育成の観点から、日本における国際バカロレア (通称: IB) の普及・拡大を推進しています。

IBの理念は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

また、IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけています。

この理念は、これからの問題解決や人々の協働のために有効であると思えます。私も以前、ニューヨーク国連国際学校の日本語教師としてこのIBに基づく教育を実践していましたので、この考え方に大きく影響されています。

ともすると「人と同じ」ことを良しとしたり、自分の考えを変えられなかったりする私たちは、もう少し「多様性」「柔軟性」について考えてみる必要があるかもしれません。そして、さまざまな体験や知識を生かして、自分で考え、自分の取り組むべきテーマに出会い、この世でたった一人の“自分”というものを生かしていくことができたなら、素敵な「未来」を創ることにつながると思えます。

来年もみなさまにとって良い年でありますように！



## ◆ インフルエンザの予防を心がけよう！ ◆

インフルエンザと診断される生徒が少し増えてきました。天候や気温も不順で体調管理が難しく不安を抱えている人も多いかと思えます。特に3年生は受検をひかえ体調管理に気を配っていることと思えます。体調がすぐれない時には無理をせず、早めの休養をとりましょう。冬休みは生活リズムが崩れやすい時期です。自分の健康は自分で守るように心がけてください。

### ★体調管理の大切な要素 → 「栄養」と「休息」

- ◎ポイントは
- ①規則正しい生活 (時間を守る)
  - ②バランスのとれた食事と快適な睡眠 (野菜と熟睡)
  - ③手洗い・うがい・身体を冷やさない (ウイルス退治)

### 2年生の東京遠足、大きな成果！

12月の冷氣の中でしたが、今年も天候に恵まれ12月19日(水)に2年生の東京遠足が行われました。3年生の修学旅行につながる貴重な体験となるように、班ごとに見学ルートを決めたり、交通手段を調べたりしながら、生徒たちは行動しました。

このような班での活動や実際の行動、体験を通して社会性や問題解決能力を身に付けていきます。今回も今後につながる東京遠足となりました。ご家庭でのご支援、ご協力ありがとうございました。



### 街頭募金へのご協力、感謝申し上げます

12月の第1週に、生徒会と福祉委員会主催の赤い羽根募金活動をグリーンラインの日吉本町駅前で行いました。今年も多くの地域の方や保護者の皆さま、卒業生の方にご協力いただきました。ありがとうございます。

この活動も日吉台中の伝統となってきました。生徒たちは皆さまに励まされ、今年も生徒たちにとって実り多い活動となりました。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

**募金総額：38,018円**



12月27日(木)～1月4日(金)は学校閉庁期間となります。ご理解とご協力に感謝いたします。